

# 読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2017\_6\_17 東京会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 118、アンケート回収 102

## 1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	58	
友人・知人の紹介	21	
ウェブサイト・ブログ	8	当財団 HP 7
メーリングリスト	4	図書館の障害者サービス 1
その他	9	図書館 4、職場 4、SNS 1
未記入	2	
合計	102	

## 2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
83	18	1	0

## その理由をお聞かせ下さい。

### 満足の理由

- ・学習障害のメカニズムの理解ができました。
- ・公共図書館ができることのアイディアを考えることができました。
- ・講座Ⅰ…「海士町のサービス」の取り組みはアイデアいっぱいの情報で楽しかったです。特別支援学校の学校司書の人数の話もされましたが、現状はもっと厳しく、図書室、音楽室、会議室などの特別教室を児童・生徒の急増に応えるために教室に作り変えている学校も多いです。学校図書はロッカーで保管し、貸出しをするなど、過密化、スペースの確保ができない。
- ・講座Ⅱ…ウラウスの話は、今の仕事に直接必要なことも多く、ありがたかったです。「コロンブスの卵」のような発想の転換(フォントの変更やカラーフィルターの利用)、新しいことが学べる機会になりました。
- ・講座Ⅲ…現場の先生の話で、とても役に立ちました。私は3コママンガ日記を続けてもらったことがあるのですが、1年も続けるとLLブックのようでした。
- ・正直、藤澤先生の講座のみに興味があって参加しましたが、河野先生の講座も面白かったです。藤澤先生が特別支援学校の現場で行って、子どもの反応がよかった授業が参考になりました。高等部生徒向けに使える作品のヒントが欲しかったなと思います(絵本だと年齢に合わないかなと悩んでいます)。
- ・とても内容の濃い講座で、どれも勉強になりました。参考となる資料も教えていただいたので、読んでみたいと思います。今回学んだことを、中学校の図書館司書(支援級あり)として、手助けできることは何かを考え、生かしていきたいと思います。
- ・点字つきの絵本、初めて見た気がします(市販品・ノンタン…等)。
- ・布絵本のブランケットステッチのあまりの丁寧さに衝撃(自分でも少し作ったので特に…)。
- ・昨年度初めて受講して、金沢星稜大学の河野先生を知りました。数年前「学習障害」について詳しく知りたかった時、専門の方を探して講演を聞きに行きましたが、なかなか良い出会いがなく困っていました。河野先生のお話をうかがい、新たな視点を持つことができました。今回も、一番はやはり、先生のお話をうかがいたかったことが「司書」よりも「図書」よりも大

きな受講動機でした。

- ・ I、II、IIIとテーマが興味深いものでした。現在障害者サービスの仕事を図書館でしておりますが、なかなか学習障害などについての詳しいお話を聞くチャンスがなかったので、特徴と支援方法は興味深いものでした。また、やさしく読める本も勉強になりました。「みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう」というテーマのように、仕事をして行けるよう努力したいです。
- ・ 何度か参加しています。これまでは、実践的な事例紹介が多かったように記憶していますが、今回は断片的だった知識や情報を整理、説明していただけたように思います。
- ・ 3人の先生方のお話をたっぷりうかがうことができました。お忙しい先生方の講義をうかがうことができ、とつてもありがたい。
- ・ 今回マルチメディア DAISY 図書のことを知りたくて、参加しました。とても分かりやすく、図書館の役割等々…が参考になりました。マルチメディア DAISY は頭の中での(本で紹介されている程度)理解でしたので、よく分かりました。各県で読書バリアフリー研究会を行っているようですが、今回初めて知りました。今後も関心を持って勉強したいです。
- ・ 3人の先生方のお話が分かりやすく、とても勉強になりました。特に学習障害については初めて知ることが多く、勤務する小学校で通常学級の図書の時間でもサポートが出来るのではないかと思いました。いろいろなヒントをいただくことができ、今後活かしたいです。ありがとうございました。
- ・ 大変実りのある講義内容を無料で実施していただいたことにまず感謝いたします。学校図書館で司書をしており、野口先生にも日ごろからお世話になって DAISY や合理的配慮については何度かお話をうかがったことがあります。学習障害についても、校内研修で扱われたことがあり、話を聞いたことがありました。今日一番満足した点は、このプログラム構成です。財団の方からの基本的なご説明があったうえで、I、II、IIIの順にお話があったことで、これまでの知識がより整理されて、理解が深まったような気がしています。
- ・ DAISY 図書は貸出だけだと思っていましたが、いろいろな活用法があることが分かりました。障害のある方に対して公共図書館として求められることが、はっきりした気がします。
- ・ 勤務先の特別支援員の方と共に話をうかがうことができた。以前に聞いたことがある内容から始まり、現在の状況まで順を追って聞くことで理解がしやすかった。“合理的配慮とは 特別扱いすること” 目からウロコだった！合理的配慮に絡めて多様性を知る良い機会であることが分かった。
- ・ 昨年よりも席が良かった。メモを取りやすく、ありがたかった。
- ・ 会場の後ろに、様々な「本」のサンプルがあって、よかった。後日サンプルをどこかに見に行く手間が省けた。
- ・ お三方 + 伊藤忠記念財団の方、みなさん話がうまくて、長時間でしたが飽きることなく聞くことができました。いろいろな新しい情報を得ることができました。
- ・ 読書をするのが“当たり前でできること”という世間の認識と実態とのズレが大きいことを感じましたが、マルチメディア DAISY などのツールを使うことで、読書のハードルを下げることでできると知り、もっといろいろな人に知ってもらいたいと思ったので。(特に教育現場に関わる人)
- ・ 講師 3名の先生方の視点が各々異なっていたことで、「読書バリアフリー」の概念を整理して聞くことができました。学校現場(小学校)にわいわい文庫を導入する働きかけのヒントを得ることができたので、それに向けて努力していきたいと思います。伊藤忠記念財団さんの取り組みを子どもたちの未来(幸せ)のために、活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 公共図書館に勤務しておりますが、“すべての人に読書を”という事を忘れずいつも心において、働きたいと思いました。
- ・ 読み書き障害の人たちがどんな感じなのか？ LL ブック、マルチメディア DAISY がどんなものなのか？ 基本的なことから分かりやすく説明されていて大変良かった。
- ・ 昨年も出席させていただきましたが、プログラムの構成も違う切り口からになっていて、大変勉

強になりました。有意義な時間を持つことができました。ありがとうございました。

- ・職場に DAISY 図書が導入されたので、iPad でアプリを入れて、教職員に紹介した。しかし「どういう部分で使えるか」「効果があるのか」という意見が大半で、私も知識不足で説明することができず、結局利用されないことが現状としてあった。そのため、私が代表してこの会に参加した。LD の理解から、現場での実践など、多面的に講座があり、私としての知識を増やすことができた。また DAISY 図書の必要性も感じ、職場で「どのような児童生徒に使えば効果が出るかもしれない」という考えが出てきた。とても有意義な研究会だった。今回の研究会の内容を職場で紹介し、DAISY 図書の活用や LD の子の支援を促進させていこうと思う。本当にありがとうございました。
- ・頭の中で漠然と考えていた問題に対する 1 つの回答が見えたような気がします。クラウドファンディングとか。「合理的配慮＝特別扱い」という事も目からウロコでした。考える角度を少し変えるだけで、自分にもできる支援がたくさんあると気づかされました。
- ・公共図書館ではバリアフリーに取り組んでおり、その上での基礎知識や便利なツールについての知識を学ぶことができた。現在特別支援学校に読み聞かせにしている。その特別支援学校の生徒について、また読み聞かせをするうえでどのような心がけが必要なのか学ぶことができたため。
- ・今まで何回かバリアフリー研究会のこういう講座に出席させていただき、公共図書館の立場でどうやっていったらいいか考えてきた。今回、3 人のお話を聞き、知らなかったこともたくさんわかった(伊藤忠さんはいつも 2 人でやっていることをおっしゃっていて、これだけの事業ができていることが驚きです)。
- ・図書館サイドからの観点、発達障害(学習障害)指導・研究の観点、知的障害指導の観点と、さまざまな角度からのお話で大変興味深く聞かせていただきました。大変勉強になりました。
- ・DAISY はプレクストークがないと使えないと思い込んでいたので、技術及びソフト面の発達が目からウロコでした。
- ・本の届け方に配慮が必要な立場の人のことがいろいろ分かりました。参考図書や実際の子どもの状況を教えていただけたのもありがたかったです。
- ・各先生方がテーマに沿って分かりやすく講義していただけて勉強になりました。今日紹介していただいた DAISY や LL ブックなど、具体的にどの場面や対象の人にどう活用するか実践例を口頭でなく映像等で挙げていただけると現場により生かしやすい(藤澤先生の講義の後半に教えていただきました)。
- ・全国学校図書館協議会で財団パンフレットをもらっていたので、実際に話が聞けて良かったです。現在、当図書館でも、図書を読むことに困難を抱えた子どもたちや大人たちに対して少しでも助けになる方法を知ることができました。
- ・学習障害についてや、マルチメディア DAISY の活用方法、バリアフリーに関する知識、情報を多く得ることができました。公共図書館でどのように活用できるか考える機会となり、感謝しています。
- ・3 人の講師の先生方がそれぞれに違った立場から見た情報を分かりやすくお話していただき、内容の濃い実践に向けた取り組みに“力”をいただいた気持ちです。公立中学校での特別支援学級に対して読書指導が置き去りにされている現状ですが、積極的に提案していけたらと思います。
- ・ピクトグラム、DAISY、LL ブックの概念を具体的に理解できた。バリアフリー読書の現状がよく分かった。
- ・市立図書館勤務、DAISY 作成ボランティア、NPO 法人で障害児サポートをしております。全ての講座が心の深く入り込んできました。仕事やボランティアにも役立ちます。ありがとうございました。

- ・初めて受講しました。この春から図書館員として働いています。DAISY 図書は蔵書としてあるものの、いまだ使用したことがなく、障害者サービスの入門として参加しました。紙での読書が困難な人に対する現状を知ることができて良かったです。
- ・いろいろな研修会（図書関連）で野口先生の講義を拝聴していますが、今回また新たな内容で分かりやすく励まされる思いがしました（特別支援教員です）。読み書き障害に関する河野先生のお話はもっと詳しくゆっくり研修したい内容でした。LLブックの編集者（作者）の先生のお話が聞けたのは嬉しかったです。生徒思いのやさしいお気持ちが伝わりました。ありがとうございました。LLブックで国語（高等部）の授業をやってみようと思いました！
- ・河野先生のお話は「目からウロコ」でした。何となく理解していたディスレクシアの人の目の動きは驚きでした。「スタートラインをそろえる」「ずっと努力不足だと思っていた」は忘れられない言葉です。
- ・野口先生のお話の中で、谷間にとどめられた人々…障害者だけを思い浮かべていましたが、長期入院の人、刑事施設で服役している人には思いが及びませんでした。
- ・藤澤先生のお話の中で、生活年齢に応じて興味を持てる本という点がとても印象的でした。優しく読める≠幼い内容ではないということは忘れてはならないと思います。
- ・DAISY 図書について何となく聞いていたが、今日の研究会の話聞いてとても勉強になりました。学校司書をしているので、先生方にぜひ推薦したいと思っています。各先生方のお話とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・事の本質に意識を向けなければ気づくはずのなかったことへと、敢えて向き合えるような進行の内容、豊富な情報、役に立つものばかりで、しかも盛りだくさんであった。
- ・具体的な事例等含め、講義全体が分かり易く大変勉強になりました。実務に生かしたいと思います。
- ・図書館での役割、学習障害や知的障害などの方々への読書支援について、分かり易くお話しいただき、ありがたかったです。特別支援学級や通級の先生方にも参加して欲しかったと思います。チラシはお渡ししたのですが、残念です。
- ・スクリーニング検査等の情報を得られたこと。ディスレクシアの方の目線の動き等、研究されている先生方のお話が聞けてとても良かったです。
- ・ディスレクシアや知的障害の子ども達の理解を深めることができた。河野講師の「文字は道具に過ぎない」という言葉に、認識を改めさせられました。
- ・野口先生のお話では、改めて図書館の役割や必要性を認識しました。「タニマー」という言葉を初めて知りました。
- ・河野先生の「つめたいですが・・・」という発言には目からウロコでした。「合理的配慮」の本来の意味を再確認できました。
- ・藤澤先生のあたたかな関西弁でLLブック紹介、とてもなごみました。支援の必要な方へ過不足のない支援ができたらいいなと感じました。今日は貴重な機会をありがとうございました。
- ・普段公共図書館で視覚障害者（高齢者の方が多い）に対してサービスしていて、なかなか子どもの学習障害について接したり学ぶ機会がなく、今回それぞれ専門の先生のお話が聞け、現場の写真や映像を見られて、大変勉強になりました。資料の現物が展示してあり、先生からもいろいろな資料をご紹介いただき、情報収集ができて良かったです。
- ・テーマと講演内容が上手く合致している。受付、誘導、進行、注意事項、案内コーナー等少人数のスタッフが100名を超える参加者の対応をよくしてくれたと思う。講師さん全て、分野毎の説明が分かりやすい。結構多くの勉強会や講演会に参加しているが、寝ている人はいないし、飽きがこない内容、進行は素晴らしい。
- ・公共図書館において、マルチメディア DAISY を収集、PRしていく方法、および、内外への理解を促進する方法に悩んでいました。野口先生のご講演は、その解決へのヒントを与えて下さいました。LLブックの意義、制作時の注意点、活用術を知ることができたのも有意義でした。

- ・内容もさることながら、会場の場所（駅チカ）、会場内の設備、環境がとても良かった。今回の概要も良いが、以前のように各団体の実地な話もまた聞きたい。
- ・野口先生の講演は大変分かりやすく勉強になりました。
- ・学校図書館の役割を改めて考えさせられた。具体的に何故電子図書がいいのかということを実践や子ども達の反応も含めて教えてもらった。なぞだった DAISY 図書の本質と、伊藤忠記念財団の熱い思いが分かって良かった。
- ・小学校で特別支援の仕事をしていますが、読み書きが厳しい子の個別指導をしていて、どう指導したらいいのか、悩んでいました。努力をしても漢字が書けない、読めないということは、分かっていたのですが、4年生だと、まだ、1、2年生の漢字は覚えさせられるのではないかと、指導していたのですが、「4年生はすでに無理。他のことを理解させたり、語彙を増やした方がいい」と教えていただき、指導を考え直そうと思います。別の4年生の子で「年」とか「組」も読めないのに、ぶ厚いゲームの攻略本のような物を読んでいました。読めるのか聞いてみると「全部、ひらがなで打ってあるので読める」とのことでした。ひらがなばかりを頼って読んでいいものかと疑問でした。ひらがなに頼って漢字を避けていたとしても、彼はその本から得るものがあるので、それでいいのだと、納得しました。（それでも…1、2年の漢字は覚えさせたいです…）。2年生で、ひらがなの単語を文節ごとにまとめて読むことができない子がいます。2年生なら、まだ指導で何とかひらがなをスムーズに読めるようになるでしょうか…。知的障害ではなく、LDの程度を見極めるのは難しいです。読み書きのスクリーニング検査もしてみようと思います。いろいろ勉強させていただきありがとうございました。
- ・質問。高校入試や大学入試センター試験の発達障害者への配慮は、発達障害という証明のようなものが必要なのですか？ DAISY の棒読み音声気がなったのですが、読み書き障害の子にはその方がいいのですか？
- ・DAISY 図書、LL ブックの良さを改めて知る良い機会となった。学習障害の理解を深めることができた。
- ・河野先生の話には「目からウロコが…」の感じを得ました。大変参考になりました。
- ・とても充実した研修内容でした。ありがとうございました。
- ・スライドが分かりやすい。楽しかった（実践が見れた）。会場がすごしやすかった。
- ・様々な視点から読むという事、読書を楽しむという事について、学ばせていただきました。今後の校内、校外支援にも生かしたいです。またこれから読書環境を整えていくときの参考にさせていただきます。DAISY 図書を活用してみようと思っています。今までは存在は知っていたけれど、どう活用すればいいか悩んでいました。今日はイメージができていました。
- ・図書館で、障害者サービス担当をしています。野口先生、河野先生、藤澤先生、どの講座も分かりやすくとても勉強になりました。
- ・昨年より障害者サービスを担当している図書館員（公共）です。学習障害や知的障害についての講義や図書の展示、大変興味があり、面白くうかがうことができました。個々のケースで、その人が読みやすい本とはどういうものなのか知ることができました。大変参考になりました。
- ・3講座ともに興味はあったのに、知らなかった!! という事多々で大変参考になりました。もっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。
- ・最初に図書館や制度、法律、読書に困難がある人たちの現状等全般的な事についてのお話があり、そのあと二人の先生から具体的なお話があるという構成がすばらしかったです。どの先生のお話も興味深く、明日からどう仕事に生かしていこうかとワクワクする内容で、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・あいまいだった部分がよく分かりました。また、現場、臨床の立場の先生のお話が聞けることもなかなかないので貴重な時間でした。このような研究会を行っていただきありがとうございます。
- ・種々の講義を受けることができた。学習障害の児童生徒への具体的配慮を知ることができ有意義でした。学校図書館のあり方、使うことが難しい場合について考えさせられました。LL 図

- 書の実物を見るのは初めてでしたので、参考になりました。
- ・公共図書館で障害者サービスに関係するサービスを進めているところであるため、野口先生のお話は大変参考になりました。また、LLブックについての知識があまり得られていなかったためどのような構成なのか等、詳しく知ることができました。ありがとうございました。
  - ・平等と公平の話が、ストンとふに落ちた。合理的配慮は、特別あつかいの所も分かりやすかったです。
  - ・DAISY 図書を知ることができて本当に良かったです。中学校図書館で支援学級があるので、ぜひ使ってみたいです。LLブックなど知らないことはいけないとつくづく思いました。このような機会を本当にありがとうございました。
  - ・さまざまな視点から、現状が、またこれから続けるべきことがよく分かりました。数年前に似たような会に参加させていただきましたが、普及や関心が広がっていることをとても感じました。続けていくことが大切だと思いました。
  - ・公共図書館員です。今まで気になりつつも、アプローチの方法が今ひとつつかめなかった図書館におけるノーマライゼーションについてよく分かりました。学習障害の実態も非常に具体的にイメージをすることができました。実際には個々の求める、合理的配慮は異なるので、どう対応するのかですが、電子書籍やマルチメディア DAISY の公共図書館での活用の可能性に改めて気づくことができました。
  - ・3 人の方の講演を聞くことができて大変良かったと思います。大人の視覚障害の方のための DAISY 図書作成に関わりはじめてまだ 1 年未満のものです。読書のバリアフリーについて、一般的なお話も含めて、初めてうかがう内容ばかりで、とても勉強になりました。ありがとうございました。貴財団の活動も初めて知りました。
  - ・普通の平凡な暮らしのなかでは「発達障害」という文字を目にすることはあっても「支援」にまでは行き着かない。日本は「教育」や「研究」にはあまり熱心ではないので、「支援」も形ばかりで「ボランティア」をあてにする傾向があるように思われる。「障害」をもって生まれた人も、そうでない人も共に生きやすい社会にするには、社会の人々に認知してもらうことが、大切と思う。専門家の話を聞くことで、認知度も上がると思うので、このような機会を多く作っていくことは必要ではないかと思う。
  - ・内容がとても濃く、勉強になりました。読書バリアフリーのためには、いろいろな方法があることに改めて気づかされました。
  - ・新しい知識を得ることができました。仕事にすぐに活用できそうです。電子図書、ぜひ利用したいと思います。
  - ・マルチメディア DAISY の教科書作製をしています。まだまだ発達障害について知らないことがあまりに多いと思いました。本を入手して読みたいと思っています。
  - ・ボランティアで DAISY 図書の製作、わいわい文庫の分割等していますが、野口先生のお話から、河野先生、藤澤先生の、順序だてて「読み、書き」の障害について詳しく知ることができ、支援の仕方など考えさせられることが多く、非常に良かったと思いました。
  - ・マルチメディア DAISY についての知識を得られた。また、現在の状況や今後の課題も理解できた。
  - ・自分が間違っていて認識していたことや、新しい情報などを得られたことにとっても満足しています。いろいろな目に見えない障害があり、受け入れる側の障害の理解や、理解するための勉強が必要だと感じました。“すべての人に本の楽しみを”がもっと、読書困難な人たちに届けばよいなあと思いました。
  - ・いろいろな取り組みを知ることができた。
  - ・学習障害について知ることができた。
  - ・大変分かりやすく、バラエティに富んだ内容でした。ありがとうございました。
  - ・実践、理論、織り交ぜた三者の講師の話が分かりやすく、障害者への支援とはどうすればいい

いのか、自分なりの考えがまとまってきました。公共図書館での実践を今後どう行っていけばいいか、指針になりました。ありがとうございました。

- ・自分だけでは知らなかったいろいろな支援方法を聞きました。今回限りにせず、関心を持ち続けていきたいと思います。
- ・大変興味深く受講させていただきました。読書活動への多様な資料について学ばせていただきました。
- ・参加させていただきありがとうございました。社会問題から、教育の実践の場で使える技術など多くの学びを得ることができました。今日の学びを活用していくとともに、職場や学校（私は大学にも通っているの）で、マルチメディア DAISY 図書について広めていけたらと思います。
- ・未記入 4

### やや満足の理由

- ・前回も参加しましたが、いろいろと新しい情報を仕入れることができました。実際の現場で活用している例、どうしたニーズがあるか、勉強になったと思います。LL ブック、広まるようになれば、オーディオブック、マルチメディア DAISY、これからもっと発展していければとおもいます。
- ・河野先生のお話が非常に明瞭で分かりやすかった。ディスレクシアの割合なども数値で出してくださったので、公共サービスを考えるうえで参考になった。
- ・やや早口で聞き取りにくいところがあったのが残念。多摩図書館が開館日だと良かった。駅から分かりやすい場所で助かった。きれいな会場で良かった。
- ・昨年も参加したので重なる部分もありましたが、新たな気づきもあり、勉強になりました。障害があると認定されないままに、図書の時間に困難を感じているのでは…と思える児童は多いようです。また、最近では外国籍の子どもたちへ日本語指導が徹底できないために、読書ができずにいる児童も気になっています。読書のバリアフリーはこちらの心をフリーにして考え続けたいことです。
- ・困難を感じる人がどこに困難さがあるのか、読書の際どんな支援を必要としているのかよく分かりました。点字、LL ブック、マルチメディア DAISY などの展示から、様々な種類の読書方法があるのも分かりました。
- ・河野先生、学習障害のしくみが少し分かって良かった。正しく理解している部分と、誤解している部分があった。もっと知りたいと思った。
- ・基礎を改めてしっかり学ばせていただきました。藤澤先生のお話も大変分かりやすく、興味のあるものでした。講義中に紹介していただいたアンケート結果も興味深かったので、テキストにも載せていただけるともっと良かったと思います。
- ・障害に合わせた資料の収集、提供を行うことによって、読み書き困難な子どもを少しでも救ってあげたい。本を読めるようにすることで、様々な知識を得ることができ、その子の人生も大きく変わると思う。PR に努め、気軽に利用できるよう考えていきたい。
- ・学習障害に興味があって、参加しました。学力と直結する障害だけに、マルチメディア DAISY 教科書を使うことで、本来の知的機能に見合った学力を身につけることができるのか等についてもお聞きしたかった。
- ・3 人の先生、それぞれのお立場からお話をうかがえて貴重な機会になりました。通級の中での実践例や、一般級に所属する LD の方へのアプローチとして DAISY 図書が使用された実例があればひ詳しくうかがいたいです。
- ・レジュメに載っている以外のスライドがあった。
- ・学習障害の支援について話が聞けて良かったです。
- ・ディスレクシアのお子さんの状況が分かりました。また、その支援の必要性の理解が深まりました。
- ・それぞれの障害に応じた読書の様子などがよく分かりました。合理的配慮も含め、これからの

活動に生かしていきたいと思います。

- ・テーマと予想した内容が違ったが、電子書籍に興味があったから、もっと電子書籍に関する情報が聞きたかったです。
- ・ワークショップ的なものもあつたら良かった。
- ・うしろの方でマルチメディア DAISY が紹介されていて、実際のもので体験できよかった。
- ・内容は良かったのですが、ペースが速かったり、1 講座に内容を詰めすぎている印象でした。部分部分で詳しくお聞きしたかったです。
- ・専門的な視点からのお話でとても勉強になりました。私は肢体不自由教育、知的障害教育併置の特別支援学校に勤務しています。学校図書館に必要なもの、取り入れたほうが良いもの等についても考えることができました。ただ、少し時間設定が長いので、少々集中が切れてしまうこともありましたので、そのあたり改善していただけるとありがたいと思います。

### やや不満の理由

- ・何回か参加させていただいていますが、だんだん同じような内容かなあと感じ始めています。他の先生方の話や利用している図書館等の話もしぜひ聞かせていただきたいです。

### 3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・とても勉強になりました。今後ともよろしくお願いします。
- ・348 作品のリストを見ることができ嬉しかったです。2 年ほど前、小児がんの子どもたちと「わいわい文庫」の作品と一緒に楽しみました。魚の大好きな男の子と「どーこだ!~海の中のかくれんぼ~」を読んだり、点滴が取れて教室に登校できた子どもたちと大きな画面で見た紙芝居風の「11 ぴきのねこ だろんこ」とか、当時も子どもの好きな本をよく知って選んでいるなあと感心したものです。今日は、ふるさとの昔話を標準語と方言でつくってあるのも面白い、こんな作品も作っているんだと思いました。本当に熱意をもって仕事をされている様子がこのリストを見ると伝わってきます。賛同して協力してくれる出版社も数多くあって心強く感じました。
- ・会場となった東京都立多摩図書館の環境がすばらしく、今度はぜひ、雑誌を見に来たいと思いました。
- ・駅から少し分かりづらかったのですが、立て看板みたいなものがあると助かります。
- ・いつもマルチメディア DAISY を送っていただきありがとうございます。コピーをして、図書館、支援級で利用しています。今年度は保護者にも説明し(支援級)、貸出しをして、家でも利用してもらおうと考えています。今回いろいろな工夫をされていることを知り、とても感謝しています。
- ・学校図書館が地域へ開放できるほど充実したものになると良いなあと感じました。本日はありがとうございました。作品製作に、上映時間の 50 倍かかるとお聞きし、改めて大変さを知ることができました。大変ですが、今後もよろしくお願いします。
- ・伊藤忠記念財団の取り組みを応援したいです。公共図書館でもっと活用して、地域の支援学校などに提供していきたいです。BLUE を皆に知ってもらいたいと思います。これからがんばってください。昨年までのチーフがしっかりした方で拡大に向けてがんばっていたのですが、今年の 4 月からはチーフが変わり、うまくできていません。図書館もがんばらなくては!! と思います。広がりを持たせていけるといいと思います。
- ・会場、快適でした。
- ・野口先生の「島まるごと図書館」のことをうかがい、興味がわきました。機会があつたら、見学に行きたいと思いました。
- ・「学習障害」は耳で聞き、情報で聞くだけだったので、障害の特徴がとっても良く分かりまし



- た。支援方法もなるほどと勉強になりました。自閉症の子どもたちの特徴も良く分かりました。支援の仕方もある機会もいただきました。有意義な時間をありがとうございました。
- ・毎回 DAISY 図書がどのようなものが届くかとても楽しみにしています。学校内でもっともっと活用できるように働きかけていきたいとあらためて思いました。
  - ・開始時間が 12:00～というので、昼食をとる時間に迷いました。内容が盛りだくさんなので、休憩時間が 10 分ずつというのもよく分かりますが、途中軽食をとれたらよかったですかと思えます。持ってくればよかったです。チラシには、飲食禁止とあったので。
  - ・素晴らしい活動を、これからも続けていただきたいと思えます。
  - ・スライドで紹介された本も、実際に手にとって見たかった。
  - ・公立の小学校ではデバイスの利用が難しい状況があり、そこをなんとかしないと、支援にも支障をきたすことを、教育委員会が理解してほしいと強く感じた。
  - ・各先生に質問したいことがあったけど、参加者全員の時間を私なんかのために使っているのだろうかとか、質問枠 1 つだけを私なんか…(以下同じ)とか、極めて日本人的な遠慮がわいてきて、挙手しませんでした。よって個別に質問させていただきました。ごめんなさい。改善策として、休憩時間中に、質問票を提出してもらい、後で(15:50 頃)各先生に回答してもらったらどうでしょう?以前、よそでそういう方式を経験しました。
  - ・特別支援学校で教員をしています。以前自分のクラスの児童(発語なし、文字導入前)が、ある絵本(ストーリーがあり、まともに読むと 10 分はかかる)を気に入り、何度も読んでほしいとせがまれました。自分で読める(音声を再生できる)ようになったら面白いのではと思い、音声ペン(バーコードシールを専用ペンで再生できる)を使ってみたのですが…ペンには興味を示さず、あくまで人に読んでもらいたいようでした。藤澤先生が代読サービスのことをおっしゃっていましたが、納得しました。
  - ・LLブック、いろいろなジャンルでほしいですね(成人した知的障害者や聴覚障害者と関わることもあり、LLブックを知る前から分かりやすい日本語で書かれた、幼稚ではない内容の本が欲しいと思っていました)。
  - ・教員研修やスクールカウンセラーの研修(臨床心理士の研修)などで、このようなお話があると、もっと関心をもってもらえると思えました。読み書き障害の児童生徒が学習をスムーズに行えるようにするために、現場の理解が必要と感じています。
  - ・野口先生、河野先生、藤澤先生方の語り口がとても聴きやすく、矢部様の軽妙なトークに笑いあり、和やかな雰囲気の研究會でした。
  - ・わいわい文庫、カテゴリーの「スポーツ」に他の競技も増やしていただけたら嬉しいです。
  - ・12 時からの開始がお昼も重なり厳しかった。1 講座がもう少し短時間でもよい感じがした。
  - ・教職員の人は、アナログ派の人や頭の固い人たちが多く、DAISY 図書や電子書籍の教育的効果に懐疑的に思っていることが多いです。このような会(教授をまねいた勉強會)を多く、様々な場所で行っていき、理解の輪を拡げてほしいと思えます。
  - ・わいわい文庫の周知に努めたいと思えました。
  - ・いろいろなバリアフリー図書やバリアフリーのためのものを知ることができて大変参考になった。
  - ・今スグにでもやりたいと思うことはいろいろあるが、公共図書館の他の業務とのかねあいや少ない人数でなかなか事が進んでいかない。職員の引きつぎが続いていかない問題に直面し困っている。公共図書館での実例を聞いてみたいと思う。
  - ・勤務している図書館にもマルチメディア DAISY はあるのですが(いただいている)、利用されていない状態です。本来公共図書館に置いておくべきなのか、学校(特別支援学校・学級)に置いておくべきなのでしょう。本日はとても参考になりました。ありがとうございました。

- ・3～4 年ほど前から、東京の特別支援学校でも iPad が導入され、パソコンを使えない児童、生徒、教師でもマルチメディアに触れやすくなったので、今こそ DAISY では！と思います。所属校に戻りましたら、DAISY の CD がまだあるのか、インストールされているのか探してみます。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ぜひ今後このような研修や働きかけを広めていただきたいです！特に学校現場に向けて…例えば、教育委員会と連携して学校司書や司書教諭向けの研修とか。
- ・今日ご紹介いただいた様々な本やソフトの購入方法等も参考までに教えていただけると、即、今後生かしやすいです。
- ・理解する一助になる研修に参加できて良かったです。増えてゆく読み難さの解消ができるよう日々の業務の中で工夫を重ねていきたいと考えています。また、このような研修を続けていっていただけると助かります。
- ・都立多摩図書館が休館日でがっかりしました。
- ・12 時開始ということで、出来れば 13 時開始（または 12 時半）くらいにさせていただくとありがたかったかなと思います。
- ・教材や機器を利用し、図書館と連携したらきっと大きな可能性がある分野であると思った。
- ・「道づれ作戦」の中に、人材育成のための勉強会開催のご予定などはございませんか？個人的には、両親介護などありまして、すぐになくても良いのですが、近い将来、勉強会などを開いていただけたら嬉しく存じます。
- ・少数精鋭でがんばっていらっしゃるお二方を陰ながら応援させていただきます。展示してあった LL ブック（「初恋」以外）等を当日購入（または申込）できると良いと思いました。
- ・学校の iPad にわいわい文庫を入れたいと思っておりますが、なかなか理解が得られません。文科省や学校図書館の通達に DAISY のことが明言されて説得力が増したと思うので、がんばってみようと思います。
- ・小学校で読み聞かせのボランティアをしています。今日のお話を読み聞かせ仲間に話したいと思います。
- ・ぜひお電話して利用したいと思っております！
- ・図書館、とりわけ学校図書館、学校司書の役割とその位置について、今後どのように取り組まねばならないのかを深く考えさせられた。
- ・今後また、今回のような講座をよろしく願いいたします。多摩図書館見学できず残念でした。
- ・Ver.BLUE の利用を通常学級でもどんどん先生方へ紹介していきたいと思いました。また、DAISY 図書をいろいろな方に知っていただくことも必要だと思います。ちなみに、公共図書館でもここで DAISY 図書（音声だけのようでしたが）を紹介していました（その図書館内ではコンピューター（iPad も）の館内貸出しをしていないので）。
- ・製作団体の紹介も欲しいと思いました（それとも伊藤忠記念財団さんだけで製作していらっしゃるのでしょうか？）。
- ・参加させていただきありがとうございました。
- ・わいわい文庫について詳しく知ることができました。とても楽しく分かりやすいお話でした。図書館や学校図書館で導入されればいいなと思いました。
- ・障害者サービス担当と児童担当・学校担当と分かれてしまっているためか、なかなかマルチメディア DAISY の貸出についての運用やルール作りがすすまず（正規職員ではないので）、何かできるかなあと考えています。LL ブックを収集できたとしたら、どの区分（棚）に入れたらよいのかとも。一般書や児童書だと埋もれてしまう。障害者資料だと気づいてもらえ

ない。

- ・電子書籍は、目の疲れや肩のコリ等の懸念が一部で言われている。これは机上で勉強する姿勢の悪さと同じことだと思うが、スマホ依存の現代病が様々なところで指摘されています。使いやすい万能電磁機器は、普及も大切だが、健康を損ねるので超過時間の使用を控える教育も必要と思います。また、学校司書も教育費の大半は人件費と施設建設、運営、維持修繕費であり、特別支援教育もそうですが、そのあたりの予算投入を、国や地方自治体は政を講ずるべきですね。野口先生、河野先生、藤澤先生、貴重なご教授、誠にありがとうございました。すばらしい会を開いてくださり、ありがとうございました。
- ・わいわい文庫の作品は、完成作品の 50 倍の時間がかかって制作されているとのことですが、どのような人が、どのようなツールを使って作られているか知りたいです。
- ・図書館に持ち帰り、事業に生かしていきたいと思いました。
- ・とても充実した研究会でした。こんな素晴らしい会を企業の取り組みで行われていることに驚きました。皆に広めたいと思います。今後も機会があれば参加したいです。
- ・ネット配信についてはマルチメディア DAISY を広めるために考えていくのも良いかと思いました。
- ・様々な立場の方が参加されていると思うので、一概には言えませんが講座によっては事例紹介が多く間延びして感じられた。エッセンスを話して欲しかった。大規模セミナーの場合、概論に絞っても良いのではないかと思います。
- ・盛りだくさんの内容で大変勉強になった。野口先生が「人」の問題ということを話されていたが、マイノリティー配慮分野への人材不足はなかなか解消されないのか…毎回感じるが、啓蒙活動が必要。大学カリキュラムに障害者教育を取り入れるべき。知ろうと努めなければ、障害者が共に暮らす社会だということに気づきにくい点は問題。
- ・今日のようなお話は、教員や特別支援に関わる人たち(ボランティア含め)、カウンセラーまで、皆が学ぶ必要があると感じています。こういった機会を続けていただきたいです。
- ・必要とする方に支援が届くと良いと思います。マルチメディア DAISY 作製のお手伝いをしているものとして、その一助となっていたら良いとも思いました。これからも普及に向けて道づれ作戦を続けていって下さい。出来ることがあったらお手伝いしていきたいです。
- ・世の中みんな理解が進むと良いと思う。マルチメディア DAISY の効果をみる事ができてうれしく思った。
- ・ありがとうございました。 2
- ・未記入 46